

現在のレベル判断

本県のレベル判断基準

下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して**総合的に判断**する。

レベル		指標		事象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 ・ 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 警戒期	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 ・ 救急外来の受診者数が増加。 ・ 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大期	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 ・ 救急搬送困難事案が急増。 （県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週） ・ 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 ・ 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 ・ 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 ・ 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

レベル判断基準における現在の状況

1 指標の状況

	12/23 宣言時	1/19 延長時	1/27	2/3
病床利用率	50.2%	51.3%	41.9%	33.8%
重症者数	5	6	2	3
1日あたり新規陽性者数 (1週間平均)	3134.6	2283.0	1375.3	954.6

2 事象の状況

(1) 保健医療の負荷の状況

事象(レベル3)	判断要素	12/23 宣言時	1/19 延長時	1週間前	直近 集計時
発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生	医療機関における 1日あたり検査件数 (1週間平均)	12/15	1/12	1/20	1/27
		4,105	4,252	3,566	2,697
救急搬送困難事案が急増 ・県全体7～8件/週 ・圏域毎2～3件/週	県内消防本部における 搬送困難事案件数 (週計)	12/18	1/15	1/22	1/29
		全県 24 岐阜 9 西濃 1 中濃 1 東濃 13 飛騨 0	全県 56 岐阜 19 西濃 0 中濃 12 東濃 25 飛騨 0	全県 22 岐阜 6 西濃 0 中濃 1 東濃 15 飛騨 0	全県 19 岐阜 13 西濃 0 中濃 1 東濃 5 飛騨 0
医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	入院制限を行っている 医療機関数 (診療科数)	12/22	1/18	1/26	2/2
		17 (29)	18 (28)	16 (25)	14 (19)

(2) 社会経済活動の状況

事象(レベル3)	判断要素	状況(1/30聞き取り)
職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生	業務継続が困難な事業者の発生状況(関係団体への聞き取り結果)	<p>【県内商工関連団体・機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で休業等している事業者は多くないとの印象を持っている。 ・一部事業者において、従業員等の罹患や濃厚接触者の増加により、納期遅れ等の事業遅滞が出ているとの情報がある。 ・来街者は第8波に入ってからずっと減っている。 <p>【県内金融関連団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済活動に影響が出ているという状況はない。 <p>【県内観光関連団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として大きな影響・混乱はない。 ・新たに業務継続が困難となった施設があるとの情報はない。